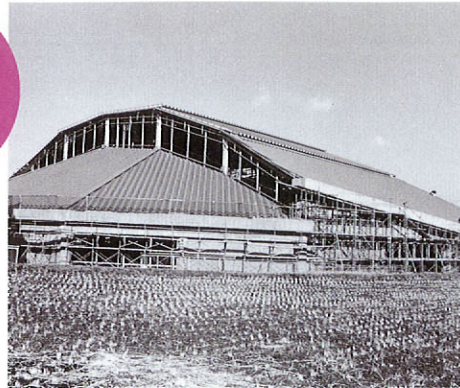


一の宮町



6月オープン 建設進む「アゼリア21」

一の宮町では、スポーツ合宿の町として、若者の交流と活性化を図ろうとスポーツ施設の整備を進めています。その中心施設「アゼリア21」の工事が6月オープンをめざして着々と進んでいます。

一年中泳げる公認50m温水プール、子どもプール、流水プール、ウォーター・スライダーなどがあり、また温泉浴場として男女浴場、サウナ、うたせ、泡湯、ジェットなどを備えることになっています。

なお、「アゼリア21」は、町の花ミヤマキリシマと21世紀をイメージし名づけられました。

●お問い合わせ (0967) 22-3111 一の宮町役場

甲佐町



緑川環境教育推進事業

緑川を中心とし、子どもから大人までが楽しく学びながら環境保全の行動力や豊かな郷土愛を育もうと、甲佐町では昨年4月から「緑川環境教育推進事業」に取り組んでいます(平成9年度までの4年間)。緑川の源流から下流までの現地踏査や実践協力校(宮内小)での環境教育のほか、昨年秋の緑川環境保全イベント「カントリースブラッシュ」でも協賛イベントを実施しています。(写真:「緑川の石に絵を描こう」)

●お問い合わせ (096) 234-0102 甲佐町教育委員会

菊池市



●お問い合わせ (0968) 25-1131
菊池祭り再興を考える会事務局(菊池商工会内)

歴史漫画本 「風雲菊池一族」完成

将来の菊池を担う若い世代が地元の菊池一族の歴史に親しみをもち、さらに郷土菊池に対する思いと自信を深め、それがまちづくりにつながっていくきっかけになればと、菊池一族歴史漫画本が作成されました。

この漫画本は、後醍醐天皇の皇子・懐良親王と十五代菊池武光の活躍をメインにA四判約百八十ページ(内資料編二十ページ)にわたり、三月に完成しました。

菊池祭り再興を考える会会長 岩永 悦朗さん

手作りの郷土史 「井寺史」を編さん

嘉島町井寺といえば「井寺古墳」と「浮島さん」。この井寺地区に住む人たちが、自分たちの郷土誌を作って、昔を伝え、これからもぬくもりのある地域にしようとの総会で決めたのが平成3年のことでした。16名の編集委員を決めて、それぞれ項目を分担し、地区163戸全ての家からも原稿を出してもらい(出稿率100%)、足かけ5年、写真も100枚を超えました。そして、3月には、貴重な郷土誌が生まれました。

●お問い合わせ (096) 237-1111 嘉島町役場

嘉島町



川の中の缶拾い機

「ふるさとの川にホタルを呼び戻そう」と、岱明町ホタルを育てる会では川の環境保全に努めています。その活動の中で、子どもたちと冷たい川の中に入って空き缶を拾っていた際、何か便利なものがあればと思ったのが、発明のきっかけです。

この缶拾い機は、長さ二層の鉄パイプについてた取っ手を引くと、ビニールパイプを半分に切ったアームが動いて缶を捕まえるしくみになっています。

岱明町ホタルを育てる会事務局長 今村 正さん



●お問い合わせ (0968) 57-1111
岱明町役場企画振興課

岱明町

多良木町



太田家住宅周辺を整備

太田家は、かつて相良氏の家臣として仕えた後、多良木村に移り農業と酒造業を営んだと伝えられています。

この建物は、形式手法からみて19世紀中頃(江戸時代末期)の建築と推定され、寄棟造りで茅葺きの屋根を2カ所折り曲げ、前後に突出部のある曲屋風の外観をもっています。人吉球磨地方の鉤屋を代表する建物として昭和48年、国の重要文化財の指定を受け、県内はもとより県外から多数の人が訪れていますが、今回農業資料館、公衆トイレ、駐車場等を設置。大型バス等の進入も可能で車でお越しの方もご利用できます。

●お問い合わせ (0966) 42-6111 多良木町役場

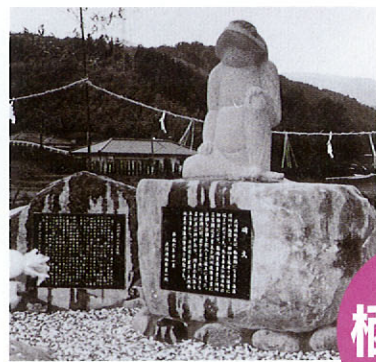
カッパの石像

栖本町大河内地区のほ場整備事業の完成を記念して、「があっば」カッパの石像ができました。

石像は高さ約1m(台座を含めると2m)。伝説の「があっば」カッパを五和東中の上中満教諭がデザイン、左ひざを立てて座るポーズでユーモラスな表情。

大河内地区のほ場整備は平成3年から県、町が約12haで実施、河川のはんらんによる田畑の冠水を防げるようになりました。

●お問い合わせ (0969) 66-3111 栖本町役場



栖本町

姫戸町



町の遺産や歴史を研究

姫戸中の社会科クラブは、姫戸町や天草の自然、地域の文化などを調べたり、ボランティアや福祉活動に参加するなど積極的に活動しており、その内容を社会科クラブの新聞「白亜紀」で発表しています。

昨年6月からは、町の「広報ひめど」にも掲載中で、これまで「姫戸を支えた石灰石」「観海アルプス自然遊歩道」「権現鍾乳洞探検」などのほか、姫戸の旧石器時代から昭和までの時代も探索しました。

●お問い合わせ (0969) 58-2111 姫戸町役場